

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課		内線等	1241
事務事業名	漁業振興事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）		
根拠法令等	農林水産振興対策事業補助金交付要綱		Dその他			

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	水産業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	漁業者の組織する団体に
手 段	事業の実施に要する経費に対して補助金を交付することによって
想定する成果	漁業の振興を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	3,395,000円	3,999,000円	3,800,000円
補助金額	1,450,000円	1,951,000円	1,860,000円
対象団体数	3団体	3団体	3団体

成果指標

成果指標名	補助率	団体数当たりの経費
成果指標の説明	補助金額 / 事業費 × 100	補助金額 / 団体数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		42.71%				48.79%				48.95%			
成果指標		483,333円				650,333円				620,000円			
事業費	事業費	3,395				3,999				3,800			
	人件費	4,822				4,826				4,774			
	(人数)	正規	0.6	非常勤		正規	0.6	非常勤		正規	0.6	非常勤	
	合計	8,217				8,825				8,574			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	8,217				8,825				8,574			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	補助対象団体の運営費の一部として有効に使っている。
経済効率性	2	2	2	2	市からの補助金だけではなく、受益者負担としての会費や負担金も相応にある。
事務効率性	2	2	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	2	2	3	2	「内部管理事務事業」「義務的事業」については記載不要 「維持管理事業」については外部委託等を検討のうえ記載
小計	8	8	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	10	8	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	震災時には、無線事業や船舶の輸送で重大な役割を果たすため、必要である。
------	---	---	---	---	-------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
運営事業費としてではなく、個々の事業に対し必要な額を補助する方法にしたい。
上記改善点の実施状況
事業ごとの内容を十分精査し、漁業振興に特に必要とするものに限り補助をしている。

今後さらに改善すべき点

時局に適合し、漁業振興に必要な事業に限り補助する。
---------------------------

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

現状維持
------

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

